

研 究 所 彙 報

— 1976.12 ~ 1977.11 —

- 学会および研究会報告
- 〔日本地理学会春季大会〕 1977年4月4日 横浜国立大学
「地域形成と住民意識」 千葉 徳爾
 - 〔同上〕
「四国南西部における作物給合地域の展開過程」 有蘭正一郎
 - 〔日本地理学会 農業地理学研究委員会〕 1977年10月1日 岐阜大学
「近世農書に対する地理学からのアプローチ」 有蘭正一郎
 - 〔筑波大学人文地理談話会〕 1977年10月13日 筑波大学
「奄美諸島のハブ咬害」 千葉 徳爾
 - 〔日本地理学会〕 1977年11月27日 松山道後国際ホテル
「長良川上中流部の水温」 宮沢 哲男
「長良川上中流部の水質」 宮沢 哲男
 - 〔大阪言語研究会第35回例会〕 1976年12月26日 大阪なにわ会館
「埋もれた語と意味の発掘」 堀井令以知

現 地 調 査

〔地域形成における住民意識〕

1976年12月～1977年2月（その間約6回6日間）

栃木県芳賀郡二宮町

日本地理学会に発表 参加者 千葉徳爾所員, 筑波大学生2名
〔可睡斎僧録文書の調査と修復〕

1977年3月1日～3月3日（第8年目） 静岡県袋井市可睡斎
全国唯一の江戸時代僧録文書280余冊の修復および保存の処置が大部分完了し、将来の原稿化に向っての踏切台の完成は来春の予定である。

参加者 主任歌川學所員, 鈴木泰山所員, 村長利根朗教授, 坂井達朗所員, 伊村吉秀講師, 河合正樹豊橋市史幹事, 愛大史学科学生有志30余名

〔新出弥生時代住居址調査, 広野古墳保存処置研究〕

1977年11月21日～11月22日

静岡県磐田郡豊田町富里

静岡県磐田郡豊田町富ヶ丘

確認事項を静岡県当局に報告し保存の方途, 補助金の申請等を決議し教育委員会がその事務手続きを担当することになった。

参加者 鈴木泰山所員, 豊田町教育委員会, 郷土研究会員等10余名

〔宝永火山噴火と酒匂川水害〕

1977年4月～7月（その間約3回6日間） 静岡県御殿場市

神奈川県小田原市山北町

研究続行中で歴史地理学会53年大会に発表の予定

参加者 千葉徳爾所員，筑波大学生4名

〔河川水温と水質〕

1977年5月11日～14日

長良川上中流部

日本地理学会で発表，「水温の研究」に投稿の予定

参加者 宮沢哲男所員，東京学芸大学助教授山下脩二氏，史学科地理学専攻学生4・5名

〔会津盆地の農業〕

1977年7月16日～19日

会津盆地

参加者 有蘭正一郎

〔河川水温〕

1977年8月3日～6日

長良川上流

日本地理学会で発表，「水温の研究」に投稿の予定

参加者 宮沢哲男所員，史学科地理学専攻学生5名

〔白山の林道と自然環境〕

1977年8月7日～11日

石川県手取谷

参加者 千葉徳爾所員，筑波大学生3名

〔奄美大島の土地利用〕

1977年8月29日～9月2日

鹿児島県奄美大島

参加者 千葉徳爾所員，筑波大学生1名

〔鬼北盆地の農業〕

1977年11月26日～30日

愛媛県三間町

参加者 有蘭正一郎

〔過去帳，宗門入別帳による人口変動の研究〕

1977年11月25日～30日

岐阜県飛騨地方

12月26日～27日

栃木県宇都宮附近

日本地理学会春季大会に発表の予定

参加者 千葉徳爾所員，筑波大学生5名

編著書・論文

〔有蘭正一郎所員〕

「近畿地方における作物結合型の地域的変貌」地理学評論 50-7，
1977年7月

〔歌川學所員，見城幸雄所員，坂井達朗所員〕

「三州渥美郡馬見塚村 渡辺家文書 貢租一」愛知大学総合郷土研
究所 資料叢書第一集，1977年9月

〔交野正芳所員〕

「非農業地域の株内と親類」ソシオロジ，1977年5月

〔久曾神 昇所員〕

「西本願寺本順集信明集」（複製本解説）墨水書房，1976年12月10日

「西本願寺本重之集思見集」（複製本解説）墨水書房，1977年4月5日

「平安時代歌論集」（善本叢書）（複製本解説）天理図書館，

1977年5月

- 「古今集」(陽明叢書)(複製本解説) 思文閣出版, 1977年9月30日
- 「古筆類の基本整理」愛知大学文学論叢, 1976年12月
- 「新出寸松庵色紙」かな研究, 1977年1月
- 「伝西行筆橋為仲集」かな研究, 1977年4月
- 「報恩会和親懷紙」かな研究, 1977年7月
- 「伝俊頼筆唐紙卷子本古今集」かな研究, 1977年10月
- 〔近藤恒次所員〕
- 「学徒動員と豊川海軍工廠」(豊川海軍工廠戦没学徒33回忌記念出版) 豊橋文化協会, 1977年8月7日
- 〔鈴木泰山所員〕
- 「可睡斎外史(29, 30, 31, 32, 33, 34)」道光(可睡斎機関誌), 1976年12月, 1977年1月5月6月9月10月各1日
- 〔田崎哲郎所員〕
- 「在村苗学研究考説-三河を例に-」有坂隆道編「日本洋学史の研究IV」創元社(愛知大学文学論叢第50輯所収のものを補訂転載), 1977年7月
- 書評「ひろたまさき著『福沢諭吉研究』」史学雑誌 86-1, 1977年1月
- 「草莽の国学と草莽の洋学」平田篤胤全集月報14, 1977年12月
- 「公害問題」愛知大学中部地方産業研究所編刊 「東三河の経済と社会」第2輯 1977年3月
- 〔千葉徳爾所員〕
- 「地域と民俗文化」大明堂, 1977年1月11日
- 「続狩猟伝承研究」風間書房(文部省科学研究助成), 1977年10月20日
- 「ムラの民俗とクニの歴史」歴史人類 第2号, 1977年7月
- 「民俗誌の目的」日本民俗学113号, 1977年9月
- 「真澄の描写した性の民俗」菅江真澄全集 別巻1月報9, 1977年10月
- 「民俗環境の変化(2)-主として人生儀礼について-」筑波の環境研究 2号, 1977年2月
- 「地名配置と住民生活史-西硯の事例から-」地方史研究 148号(27巻4号), 1977年8月
- 「同じ苗字を持つ家の集まりかた」伊那 25巻10号(593号), 1977年10月
- 〔夏目隆文所員〕
- 「萬葉集の歴史地理的研究」法蔵館, 1977年2月10日
- 「乎波里三十六歌仙」愛知大学総合郷土研究所紀要 第22輯, 1977年3月15日
- 〔堀井令以知所員〕
- 「言語類型の近似現象について」アカデミア文学, 語学編24輯, 1977年2月28日
- 「再構について」日本フランス語フランス文学会中部支部研究報告集創刊号, 1977年2月1日

「有禅染職業語の社会言語学的研究」愛知大学総合郷土研究所紀要
第22輯，1977年3月15日

「語源学の方法」月刊「言語」6月号，1977年6月1日

「内的再構について」ロマンス語研究 11号，1977年11月20日

その他報告

〔大須賀初夫所員〕

「古文書読解の講習会開催」（史の会）於 愛知県豊橋勤労福祉会館
・豊橋市生活家庭館（毎月1回）

「古文書採録，講読の講習会」於 南設楽郡作手村 甘泉寺

1977年9月10・11日（会員中にて「三州長者平村」を発行せし者ありその指導協力をも行なう）

資料叢書刊行の件

愛知大学の創立30周年記念事業の一環として，当研究所は「愛知大学総合郷土研究所資料叢書」を刊行することになった。そこで，当所所蔵の渡辺家文書の全面複製を計画し，その第一集として9月に貢租関係文書（寛文年間より嘉永年間までの免状170通，及び寛文年間より文久年間までの皆済目録73通）を複製発行した。

（394頁 販価3,000円 送料200円）

昭和51年度研究所組織

〔所 長〕	歌川 學		
〔所 員〕	有蘭正一郎	歌川 學	大須賀初男
	交野 正芳	川越 淳二	久曾神 昇
	見城 幸雄	後藤 和夫	近藤 恒次
	坂井 達朗	島本彦次郎	鈴木 泰山
	鈴木 中正	田崎 哲郎	千葉 徳爾
	中出 惇	夏目 隆文	堀井令以知
	牧野 由朗	松下 智	宮沢 哲男
	渡辺 正		
〔運営委員〕	（庶務）	川越 淳二	
	（企画）	島本彦次郎	
	（資料）	見城 幸雄	
	（編集）	坂井 達朗	
〔事務委託〕		山本 敦子	